

# つぎの社会へ、 信頼のこたえを

## Trustworthy Solutions for the Future

川崎重工グループは、刻々と変わる社会に、革新的なソリューションをタイムリーに提供し、希望ある未来をつくっていきます。そして、さまざまな枠を超えてスピーディに行動・挑戦することで、自らの可能性を広げ成長し続けていきます。

### Frontier | 挑戦のDNAでフロンティアを切り拓く！

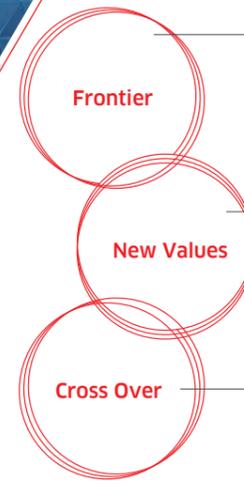
わたしたちは、創業時から挑戦者でした。最先端技術をベースに、造船、車両、航空機など、世界初、日本初といった「フロンティアに独自の視点で挑戦し続けた歴史」がDNAとして刻まれています。これからも、新たな時代の社会課題というフロンティアに、わたしたちらしく独自の視点でこたえを出し、希望ある未来をつくり出していきます。

### New Values | 世界が直面する課題に革新のこたえを！

世界は、地球環境問題、エネルギー問題、人口問題・高齢化、自然災害、パンデミックなど、さまざまな課題に直面しています。わたしたちのこれまで培ってきた信頼の技術や知見を結集して革新的な解決策をつくり出し、社会の変化に対してスピーディに動くことにより、さまざまなお客様、多くの人々に新しく高い価値を届けます。

### Cross Over | 枠を超え、成長し続ける創造的な挑戦者に！

「革新のこたえ」を提供するために、わたしたち自身が社会課題に焦点を合わせ、多様性を強みとして、社内外の組織や製品の枠を超えて動く、オープンで自由闊達・創造的なチームであり続けます。そして、自らの可能性を広げるべく、新たな領域へ挑戦し、その挑戦から学び続けることにより、組織・人共に成長し続けます。



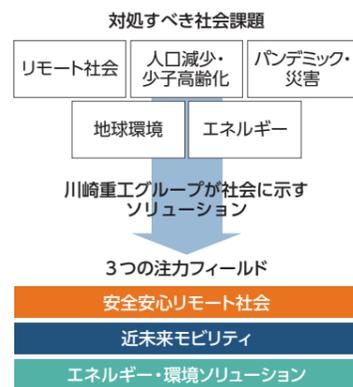
## 経営方針

2020年度、当社グループの目指す将来像として「グループビジョン 2030」を定めました。

脱炭素社会の実現、先進国を中心とした高齢化社会・労働力不足への対応、医療などの地域間格差の解消、自然災害の抑止や早期復旧、エネルギーの安定供給など、さまざまな

社会課題に対するソリューションをタイムリーに提供するため、3つの注力フィールドを定め、各種施策を推進しています。

「成長性の追求」「適正な利益」「安定性・シナジー」を基本方針とし、成長事業に投資を行いながら、時代の求める姿に事業を変容させることで持続的な成長を追求していきます。



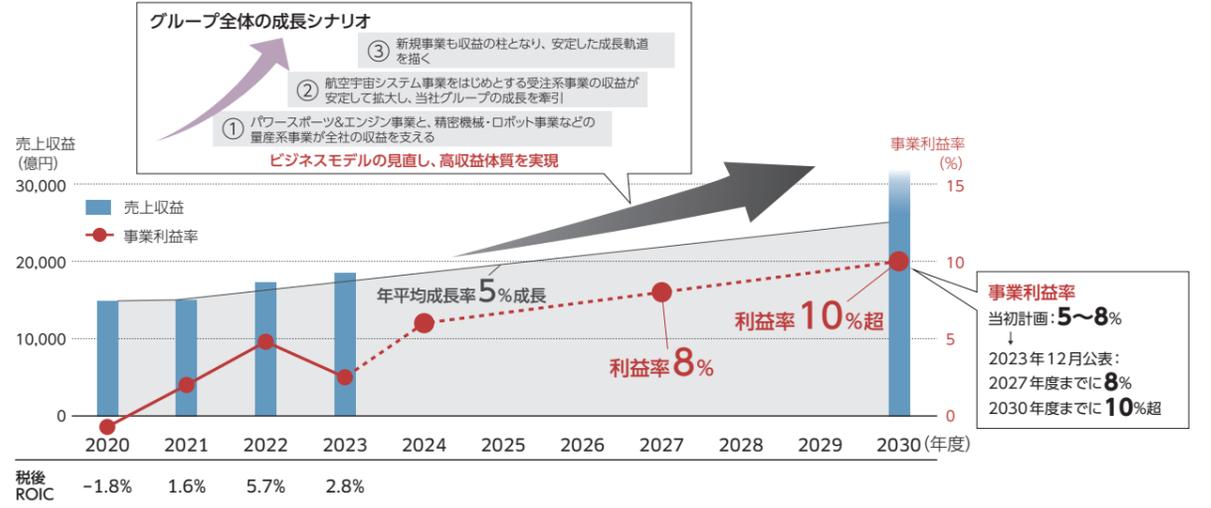
成長性の追求	成長分野・新規事業への開発投資	関連するSDGs 
適正な利益	事業利益率 2027年度までに <b>8%</b> 2030年度までに <b>10%超</b> 税後ROIC 資本コスト(WACC)+3%以上	
安定性・シナジー	コングロマリット・プレミアム※ の実現 ※ 事業間のシナジー効果が発揮され、企業価値が向上する効果	

## 成長シナリオに沿ってビジネスモデルを変革～事業利益率目標を引き上げ～

「グループビジョン 2030」の下、3つの注力フィールドを軸とする成長シナリオを推進しています。パワースポーツ&エンジン事業の好調が持続していることに加え、航空需要の本格的な回復に伴い、航空宇宙システム事業をはじめとする受注系事業の収益も安定的な拡大が見込まれます。成長シナリオは第2段階から第3段階へ差し掛かりつつあり、今後は、水素事業をはじめとする新規事業の収益化

により安定した成長軌道を描くことを目指していきます。これまで「グループビジョン 2030」では、世界のGDP平均成長率3%を上回る売上収益年平均成長率5%の達成を目指してきましたが、2021年度以降は約7~8%の事業成長を実現しています。利益については、2027年度までに事業利益率8%、2030年度までに事業利益率10%超の実現を目指していきます。

### 成長イメージ



## 事業ポートフォリオ改革

既存事業では市場ニーズを捉えた製品・サービス開発で収益力を高めつつ成長を目指し、2030年に向けて事業ポートフォリオ改革を進めます。現在注力している水素関連事業ならびに電動化・グリーン電力網への対応などのカーボンニュートラル関連事業が大きく拡大する見込み

です。さらにモノ売りからコト売りへのシフト、オープンイノベーションを活用した新規事業の創出を加速させます。社会課題のより本質的な解決を実現し、ステークホルダーの皆様から高く評価される企業を目指していきます。

